

## 目標達成計画

作成日: 令和 2年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい。 地域との交流、繋がりが疎かになりがちである。 土砂災害特別警戒区域に立地しているため災害時の地域の協力を上げるような関係の構築ができていない。	・地域密着型のグループホームの役割や努め等を地域住民の方々に理解していただけるよう努めたい。 ・災害時に協力をお願いできるような関係の構築を図りたい。	・自治会、老人会等への参加。 ①地域の集まりの中でグループホームの役割等を周知する。 ②災害時等の地域での協力体制を構築する。	6 ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み。 運営推進会議の開催が3回/年と少ない。 自治会長、民生委員を含め地域住民の参加が少ない。 平日の開催のためかご家族様の参加もほとんどない状況である。	・運営推進会議の開催を現在の年3回から4回へ、更に次々年度には、2か月に一度年6回の開催を実施する。 ・会議出席者の充実を図る。地域の代表者2~3名、家族様2~3名。	・次回開催の運営推進会議で地域の自治会長に参加をお願いできる民生委員や各種団体の会長を紹介していただき個別に参加をお願いする。家族様参加のために年に何度かは日曜日の開催を行ってみる。	6~12ヶ月
3	35	○災害対策 土砂災害特別警戒区域に立地しており台風や大雨時の避難情報(・準備「高齢者等避難開始」・勧告・指示)への対応に苦慮している。	・昨年、一昨年に実際に地域の避難場所へ避難を行った。避難時の人員、車両の確保、地域住民への協力要請のあり方を構築していきたい。(避難実施の時期の判断に苦慮している)	・上記、運営推進会議を活用して地域の住民の方々への協力を上げるようにする。 ・同じく行政の方へ避難場所での要介護認知症利用者様への適切な対応を要請していく。 ・外部評価時にして気の合った災害時の備蓄について職場会議に諮り適量を備蓄する。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。